

市長就任記者会見（報告）

1 日 時 令和5年12月22日（金）9時15分～10時00分

2 会 場 市長室

3 出席者

<報道機関>山形新聞、読売新聞、河北新報、産経新聞、米沢日報、NHK、SAY、
YTS、YBC、NCV

<市>市長、秘書広報課長

4 内 容

○記者

まずは、市長の椅子に座られた感想をお聞かせください。

○市長

大滝龍蔵さんが初代市長になられた明治22年以来、18名の先輩方が引き継いでこられた襷を受け継いだという思いで座らせていただきました。その重責に身の引き締まる思いですし、緊張しております。証書をいただいた際に、やる気200%と申し上げましたが、気持ちは今もそのままでありますし、これから市民の皆さんと職員と一緒に新しい米沢づくりに取り組んでいきたいと思っております。

○記者

抱負を一言いただけますか。

○市民

市民の皆さんの暮らしと命を守ることを第一に考え、かつ公約を着実に実行していきたいと思っております。市政に掲げている対話、実行、情報の公開。これらを大切にしたいと思っております。また、笑顔も大切にしていきたいです。

○記者

まず公約の中で何から着手していこうとお考えですか。

○市長

以前から申し上げているとおり雪の対策を急がなければなりません。また公約に掲げている「母になるなら米沢市」の子育てや教育関連についても実現を目指していきたいと考えております。

○記者

雪対策は具体的にどのようなことを実践されますか。

○市長

改めて定例記者会見の場でお答えしたいと思います。

○記者

庁内に入る前、支援者の方もおられました。その時の思いをお聞かせください。

○市長

職員の皆さんには寒いところ庁舎前で迎えていただきありがたく思いました。また、応援をいただいている皆様には駆けつけていただき感激しました。御期待にしっかりと応えなければならないと改めて心に刻んだところです。

○記者

雪対策の話がありましたが、市長は自宅の周りなどの雪かきをされましたか。

○市長

2、3日前に一気に降りましたので、自宅や事務所の前の雪かきをしました。

○記者

今日から動き始める公約事業はありますか。

○市長

まず、今日は職員の皆さんに私の考えをお伝えすることが大事だと思っております。また、庁内会議の場で幹部職員の皆さんにも改めて私の考えをお伝えしたいと思っております。

○記者

年内に実施できそうな公約事業はありますか。

○市長

現実的には年内の実施は困難と考えます。

○記者

観光面の文化歴史の発信について、どういう形で発信していこうとお考えですか。

○市長

冬は米沢市民生活にとって厳しい季節ではありますが、観光のシーズンでもあります。今日は、小野川温泉スキー場の安全祈願祭が行われ明日オープンします。雪灯籠まつりも控えていることから、いよいよ冬の観光シーズンが到来したという思いです。また、冬の花火が計画されていると聞いているため、米沢の冬をPRしていきたいと思っております。

○記者

市長としての決意をお聞かせください。

○市長

一人で行政を担えるわけではなく、職員の皆さんと一緒に力を合わせていかなければならないと思います。最終責任者は私ですので、その責任の重さを感じています。先ほど、職員の皆さんに出迎えていただきましたが、こういった職員の皆さんや支援者の皆さんの気持ちに答えられるよう全力を尽くしたいと思っております。

○記者

副市長、教育長に対してどのような期待感をお持ちですか。

○市長

じっくり考えて適材を選びたいと思います。

○市長

改めて定例記者会見をさせていただきます。できる限り丁寧に説明をしていき、皆さんとの関係を大事にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○秘書広報課長

それではこれをもちまして、近藤市長の就任記者会見を終了いたします。